令和５年度第４回(通算 124 回)歩こう会

塩竈みなとまつりと仲卸市場
ウォーク開催記

記　歩こう会幹事　萩原鉄雄さん
開催日　2023 年 7 月 17 日（月）
場所　塩竈市　港まつり会場
参加者　１１名

7 月の歩こう会は、今年度祭りシリーズ 4 回目の企画 **日本三大船祭「塩竈みなとまつり」**の本祭神輿海上渡御の見物を主に歩きました。
集合場所の仙石線東塩釜駅前に 10 時集合。参加予定 14 名中 11 名が参集しました。天気は快晴海風が心地よいも外気温度は 30 度を超えていたので熱中症に注意して歩きました。
観光客の多くは本塩釜駅で乗客の 9 割は下車し終点の東塩釜駅は閑散としていました。 塩竈神社よりの御神輿パレードは観客で混雑が予想されるためコースより除外しました。 御神輿は塩釜港の西埠頭から 2 隻の御座船が巡幸します。 東塩釜駅よりやく 6 分で東北ドック鉄工の脇より港の東側の海辺に着きました。　御座船は 76 隻のお供船を従えて巡幸と発表されています。
←塩竈市観光物産協会ホームページより

船溜まりには出航に備えて十数隻の漁船が大漁旗などを飾り待機していました。　乗組員の方の話を拝聴し又いろいろのことに質問などしました。

船溜りより徒歩 1 分のところに塩釜港に面しての無人島があります。
籬島(まがきしま)です。　島には**籬神社**が祀られています。
神社は毎月 1 日と土日祝日のみ開錠され通常は島に渡れません。
日本遺産の一部に認定され塩竈市の文化財に指定されています。
島内には松尾芭蕉も訪ねており句碑などもあります。
機会がありましたので島に渡り神社に参拝したのち､塩釜マリンゲートなどを木陰より観ながら暫しの涼をとり暑さを和らげました。

塩釜水産物仲卸市場は日本でも有数の大きな規模の仲卸市場で約 150 店の専門店が営業しています。営業は午前 3 時より日により午後 1 時又は 2 時までです。
塩竈市民の台所にもなっています。一般の方も卸価格で買うことができます。遠くは福島県の相馬市より寿司店の店主が新鮮なネタを求めて仕入れに来ますと店の方が話してくれました。年末の 12 月になりますと買い物ツアーの観光バスがたくさん駐車して場内は賑わっています。
お正月用の魚と贈答用の海産物を購入のため市場にくるたびに目にする光景です。　店内には数店の食事処があります。各自好みの店にて海鮮丼を味わいました。
某氏は“あなご天丼”でした。さくさく食感で美味しく頂きました。

食事後市場に来た折に 30 数年立ち寄るたこの販売店で酢蛸をお土産に購入しました。
蛸専売のお店は 3 店ありますが美味しさが 1 番好評のお店です。

11 時 40 分神輿海上渡御の巡幸の時間も近くなりましたので曲木漁港の埠頭に向いました。　岸壁は対岸まで遮るものもなく見物には特等席です。
観光ガイドに載ることもなく地元の人々が見物に集まった位です。

12 時 15 分花火の音と同時に塩釜港西埠頭より御神輿を乗せた塩竈神社の御座船鳳凰丸がお供船を従え出航し、続いて志和彦神社の御座船竜神丸がお供船を従え出航しました。　数分のち目の前をゆっくりと過ぎていきました。御神輿や神主さんの姿もばっちりです。
港内を一周のあと 16 時 30 分の帰港まで 4 時間余日本三景松島を巡行するため港外に遠ざかりました。

2 度も鳳凰丸と竜神丸の御座船を観れるとは思っていませんでしたので幸運でした。　海辺なので風は悪しましたが直射日光で半ズボンを着用していたため右足が火傷状態になりました。　神輿海上渡御の出航を見送ったのち帰途につきました。
暑かったために熱中症にはなりませんでしたが、帰宅希望者が多かったため東塩釜駅前で解散 7 名が電車で帰宅。
4 人は本塩釜駅まで市内の様子を見ながら歩きました。

港や神社等は車両通行止めで警察官の指示で動いていました。
塩竈神社は東北最大規模の広さで、プロ野球楽天のホームグランドの 23 個分あります。　志和彦神社も敷地内にあります。
本日の御神輿の重さは 1 トンあり 202 段の表坂をくだりました。
18 時 30 分よりは還卸として神社に戻る予定です。